



334複合地区スローガン

楽しく広げよう ライオンズブランド

334-B地区スローガン

地域に寄り添い
未来に掲ぶ We Serve

岐阜西ライオンズクラブスローガン
千古不易

2024年 4月 第二例会 1012回
4月23日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第1012回 通常例会

- | | | |
|---|---------|---------|
| | 司 会 | L.山口 |
| 1 開会ゴング | 会 長 | L.大橋 |
| 2 国歌斉唱並びに
ライオンズヒムの歌合唱 | | |
| 3 ゲスト及びビジターの紹介 | | L.堀 |
| 4 慶祝行事(結婚祝) | | L.井ノ浦 |
| 5 アワードの伝達 | | L.井ノ浦 |
| 6 会長挨拶 | | |
| 7 講演「誰ひとり取り残さない支援を目指して」
サステイナブル・サポート 代表理事 後藤千絵 様 | | |
| < 食 事 > | | |
| 8 幹事報告 | | L.後藤 |
| 9 各委員会報告 | | |
| 10 テールツイスター登場 | TT | L.乙部 |
| 11 出席報告 | 出席大会委員長 | L.広瀬(真) |
| 12 会計報告 | 会 計 | L.山崎 |
| 13 閉会ゴング | | L.大橋 |

会長・幹事報告

第1012回 幹事報告

- 4月11日(木)京都嵐山ライオンズクラブCN37周年記念会が京都ホテルオークラにて開催され、会長L.大橋、幹事L.後藤、L.山口の3名が出席し、お祝い申し上げました。
- 4月14日(日)に開催された第70回地区年次大会において、ガバナーズアワード「ガバナー特別賞」をいただきました。会長L.大橋、新会員L.岡田の2名が参加致しました。
<代議員総会決議事項>
・次年度334-B地区スローガン
「人々に健康と希望を!! We Serve
楽しくなくちゃライオンズ」
・2024～2025年度家族会員の地区費について
会員維持を図るべく、2023～2024年度家族会員(二人目以降)の地区費及び、地区年次大会費・各種協力金を徴収しない。
・2024～2025年度ライオンズクエスト協力金について
2024～2025年度ライオンズクエスト協力金(事業費及び運営費)を徴収しない。
・北海道札幌市フォーラム開催に向けての協力として
会員(家族会員二人目以降除く)一人当たり2,000円を拠出する。
- 4月19日(金)第4回ガバナー諮問委員会がホテルパークに於いて開催され、第一副会長L.岩田、幹事L.後藤、事務局の3名が出席致しました。

会計報告

ドネーション	7人	金額	29,000円
ファイン	6人	金額	21,000円
Boxファイン		金額	5,452円
合計	13人	金額	55,452円

出席報告

会員数	39人
出席数	33人
出席率	84.6%

次回例会案内

日 時: 5月14日(火)12:15から
場 所: ホテルグランヴェール岐山
例会名: 通常例会

慶祝行事

結婚祝
4日 L.追立涼子 10日 L.河野秀明
20日 L.広瀬恵子

会長挨拶

会 長 L.大橋 良広



皆さんこんにちは。
先日、第70回334-B地区の年次大会に新会員のL.岡田と参加させていただきました。地区の本年度集大成の大会でもあり大変盛大に開催されました。特にガバナーは大役を果たされたということでいつも以上にご機嫌で楽しいスピーチをされており、司会の方が止めるのも聞かず時間を大幅に延長され会場に笑いを起こっております。大会には元国際会長のL.山田實紘も参加されており、その際2030年国際大会の札幌誘致にご尽力されているとのお話をさせていただきました。



すでに2025年にはオセアルの大会が札幌で開催されることは決定しておりますので個人的には是非参加したいなと思います。
また、先日集めさせていただきました能登半島地震義援金ですが、4月19日(金)に岐阜市役所に行き、柴橋岐阜市長へお渡しいたしました。大変お喜びでしたのでこの場を借りてご報告させていただきます。それでは本日も宜しくお願いたします。

特別記事

講演「誰ひとり取り残さない支援を目指して」

サステナブル・サポート 代表理事 後藤千絵 様



私たちは、働きたいのに働けないという方を支援する団体です。
若年の無業者数が今57万人もいるということをご存じでしょうか。10人に一人が就職も進学もせずに無業のまま大学を卒業しています。そして生産年齢人口の中で、引きこもり状態にある人は146万人。岐阜県の生産年齢人口は113万人ですので、岐阜県がまるまる引きこもっても足りない状態。シニアの方が引退したくてもできない日本。こうした社会課題を解決したいと願い、「誰もが自分らしく生きることのできる社会」を目指して活動しています。
一つ目は障害者の「働きたい」を応援する活動です。二つ目には、働きたいと思って社会に出ても、受け入れる側が多様性に寛容でないと、若者の心が折れてしまいますので、いろいろな方が活躍できるようにダイバーシティ啓発活動もしています。

三つ目は、誰もが支援を受けれる活動です。福祉とは違い安定的な財源はありませんので、誰かのおせっかいではなく社会の仕組みとして確立させようという取り組みです。

はじめは2015年に「ノックス岐阜」という就労支援事業所を立ち上げ、福祉事業からスタート致しました。発達障害、知的障害の支援からです。企業は法定雇用率のために、障害のある方も雇用されますが、それまで社会に出ていない方は難しかったりしますので、その準備をしていくのが就労移行です。その後、2年間という期限でもまだ就職が困難な方の為、特に女性を対象としての作業所として「アリー」という施設を作りました。また保護猫カフェなども支援の中で運営しています。

私たちは、福祉のイメージを変えたいと思っています。今まであったような既存の福祉施設には行けないが、ここなら、と言って来てくれる方が増えました。障害福祉サービスは、当然障害のある方しか利用できないのですが、実は利用者のほとんどが、大学までは障がい者としては生きてきていない、大学を出てから就職でつまづいてはじめて障害診断を受けたという方々で、3/4くらの方が高校卒業し、およそ半分が大学や大学院に進学しています。ただ発達障害傾向があったとか、コミュニケーションが苦手だった方です。大学までは何とかこなせたけど、社会のマルチタスクについていけず、生きる価値を見出せない若者達でした。その若者が目の前で死にたいと泣いている。この人たちを支援するのはもちろんですが、こういう人を生み出さない世の中をつくらなければならない。なぜ誰も彼らの生きづらさに気づいてあげられなかったのだろうと思いました。そこから予防的支援の挑戦がはじまりました。スタートは大学生を対象にしたキャリア支援プログラムというものです。就活コミュニケーション講座というものを開始し、大学側から生徒を

紹介してもらい繋がっていききました。

引きこもりは、学生時代の不登校、またリストラや倒産などからくる場合もちろんありますが、この働き始める初動でのつまずきがきっかけとなり、社会の誰も繋がりをもちに引きこもるといのがほとんどです。私たちはここを解決するために「岐阜キャリアステップセンター」を開設しました。よくある行政のような支援の窓口ではなく私たちはアルバイトやっして下さいというアルバイトの提供からはじめました。私たちと繋がった若者に居場所を提供し、人と関われるようにしました。就活講座だけでは次には何も生まれないので、その後の居場所作りが大事だと感じます。実際、就職困難だと言われた若者が、私たちの施設から、この3年間で20人巣立っていききました。今後、継続的な支援として3つのアクションを掲げています。

- ①対象者について、「就職できない大学生」イメージの解像度をあげ、社会的認知をさせて課題としていく
- ②地域の方との連携体制の構築
- ③財源の確保として行政、国への働きかけ

3月には厚生労働省でも記者会見を意見書提出してきました。未来への若者への投資として、この活動を持続可能なものにしようと訴えてまいりました。どうか皆様方企業様にも、「ぎふハッピーハッピープロジェクト」(寄付付商品の販売)にぜひともご協力いただけたら大変に嬉しく思います。

能登半島地震被災者支援金のお届け

4月19日(金)会長L.大橋、幹事L.後藤の2名が岐阜市役所に行き、岐阜市長に直接「能登半島地震被災者義援金」500,000円をお渡しいたしました。岐阜西ライオンズクラブ名誉会員でもある市長のL.柴橋は大変に喜ばれました。改めて、会員皆様の真心の支援に感謝致します。



結婚祝



4日 L.追立涼子 10日 L.河野秀明
20日 L.広瀬恵子
おめでとうございます！

アワードの伝達



LCIF1,000ドル献金MJFアワード
左から L.志智 慈朗 (4回目)
L.山崎 則和 (3回目)
L.後藤さとみ (1回目)
L.大橋 良広 (3回目)
おめでとうございます！

第70回334-B地区年次大会

4月14日(日)第70回地区年次大会が四日市市文化会館で開催され、代議員として会長L.大橋、一般参加として新会員L.岡田の2名が参加致しました。大変にお疲れさまでした。



⇐ 今期ガバナーズアワードはSE
Oレオクラブ結成の功績に対して
「ガバナー特別賞」をいただきまし

会長L.大橋とL.岡田？ではなく、四日市市マスコットキャラクター「こにゅうどうくん」 ⇒

